

目標を持つことの大切さを語る山元豪選手＝富山市新桜町で



富山出身・山元選手 高校生へ夢の授業

毎日失敗…でも、五輪という目標があったから

平昌冬季五輪のスキートルディック複合に出場した富山市出身の山元豪選手(20)が二十日、第一学院高校富山キャンパス(同市新桜町)で特別授業を行った。生徒三十人に「スキーはもともと得意ではないが、毎日毎日失敗を繰り返してここまでこれた」と、目標を持つことの大切さを語りかけた。ソチ五輪代表落選など、これまでの試練を「いろんな失敗をしてきた。でも五輪出場という目標を立てたから諦めずに前に進むことができた」と説明。「センスはもともとあるものではなく磨くもの。いま夢や目標がない人もどん

どん新しいことに触れて」と言葉

を贈った。

三年の上森大雅さん(も)は「目標を持って諦めずに努力していれば成長できる。自分もいろんなことを学びたい」。岩井正和教諭(五)は「小さい学校なのに来てくれた。いちばんうれしいのは山元選手が生徒たちの知的好奇心を刺激してくれたこと」と話した。

授業は、山元選手が所属するダイイチ(同市)に、同校が依頼して実現。山元選手は授業後「改めて自分がどうなりたいかを考える貴重な経験をさせていただいた」と振り返った。

(柘原由紀)